

西武学園文理中高 ライフル射撃部

心と体が鍛えられる 一発45秒の静かな戦い

ライフル射撃部と聞いて、あなたはどのような部を想像するだろうか。使用するライフルはまさか本物!? ターゲットは何を狙う? 部員はどんな人たちなのか? 謎に包まれたライフル射撃部の練習現場取材した。

「一人一つずつ 賞状か トロフィーを もって並ぼう!」

獲得した賞状やトロフィーがかなりたくさんあったので、1人1個ずつもって集合写真を撮ることに。先輩たちの戦果を抱えながら、誇らしく写る後輩たち。いずれ自分も立派な成績を出すぞ、と心に誓う。



自分と向き合う時間が好き
ちょっと大人な個性派集団

埼玉県狭山市に広大な敷地を有する西武学園文理中高。キャンパスの中央に位置する体育館には、部活動のすばらしい実績を称える垂れ幕が並びます。映像制作部全国大会出場、陸上競技部、合唱部全国大会出場、そして、ライフル射撃部全国大会「優勝」。

昨年8月に行われた全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会で日本一の栄誉に輝いたのは高3の大場仁千称君。女子の深瀬絵美子さん(高3)とともに、東アジアユース大会出場のためのシंगाポール遠征メンバーにも選出されるなど、世界の舞台でも戦績を残しています。先輩たちの活躍に続けと中1〜高2生も練習に余念がありません。

ライフル射撃とは、10メートル離れた的に向かって45分間で60発撃ち合計得点を競うスポーツ。射撃数を



西武学園文理中学・高等学校
中高6年の一貫教育を通じて、未来を担うトップエリートを育成する。18年度大学入試では旧帝大9名、医学部18名など高い合格実績をあげている。

制限時間で割ると一発あたりの時間は45秒。心を落ち着かせ狙いを定めるこの時間は、自分と向き合う絶好の機会でもあります。ライフル射撃部を選んだ理由として、この時間が好きと答える部員も少なくありません。精神を極限まで集中させるこの競技を選んだだけあって部員たちは個性派ぞろい。部長の榛原さん(高2)は「一人ひとりと同じ目線に立って話すことで、どうにかチームをまとめていきます」とのこと。心も体も鍛えられるライフル射撃部、今年も優勝目指して練習に励みます。

「めざすはオリンピック出場!」



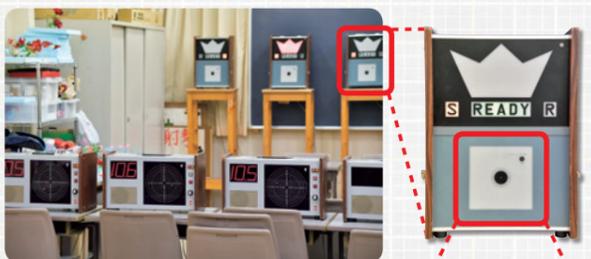
高3の深瀬さん(左)と大場君(右)
後輩たちがあこがれ、目標とする2人。東京五輪は間に合わないかもしれないが、2024年五輪は本気で狙っていきたいとのこと。

ひたすら集中!狙うは10点台



スコープをのぞき、慎重に狙いを定める。左に重心を寄せたスーパーモデルのような姿勢は、安定してライフルを構えるために不可欠。硬く重たい専用ジャケットも姿勢を安定するために着用している。

レトロ感漂う射撃装置



標的までの距離は10メートル、手前の表示装置ですぐに得点が出る仕組みだ。右の画像は的を拡大したもの。10点台を取るにはシャープペンシルの消しゴムよりも小さい中央の白的的に命中させなければならない。

黒丸の中央部にある白丸にあてると10点台!



ビームライフル銃

このシールは大会出場の証。記念にはがさずにとっておいたらシールだけに(笑)

高校の先輩たち。安定感が違います。



中学生たちは17時半で部活終了。ここからは外でトレーニングをしていた高校の先輩たちの時間。体の大きい彼らがライフルを構えると、場の空気が変わる。

先輩から後輩へ、技術が受け継がれる



「もう少し肩の力を抜こうか。日々の技術指導は先輩が行う。部長の榛原さんは全国大会出場を果たした実力者だ。専用ジャケット一式は歴代の先輩たちが寄贈したものがたくさんある。

先輩の 声

ライフル射撃部で活躍中の先輩の声を紹介します!



中1 小山君

なかなかない珍しい部なので、気になって体験入部に参加。面白かったので入りました。勉強の進度が速くてライフル射撃部との両立が大変ですが、頑張ります。



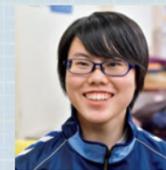
中2 嘉部さん

行きたい大学で「射撃の訓練」という授業があり、今後の役に立つと思って入部しました。中学生のランキング内に入っていますが、もっと上の順位を狙ってみたいです。



高1 阿久澤君

小学生の時に文理の学園祭でライフル射撃を体験したのが入部のきっかけです。今年の学園祭もライフル射撃体験は大盛況でした。たくさんの人に魅力を知ってほしいです。



高2 榛原さん

部長を務めています。銃や弓矢など、撃つ競技に興味があってライフル射撃部を選びました。先輩たちに負けないような結果を出したいと思っています。

顧問の 先生の 声

顧問の先生に部活の魅力をお聞きしました!



顧問 塩旗先生

仲間を大切に、感謝の気持ちをもって楽しく取り組むよう指導しています。苦勞を乗り越えた生徒の輝く笑顔を見ることが何より楽しみです。